

U12b 銀河相関関数による宇宙初期の検証

小川智也, 山下和之

銀河の角度相関関数 $w(\theta, m)$ は非常に暗い等級まで観測でき、したがって、間接的ではあるが high redshift の情報を得ることができる。しかし、これまでは、観測量 $w(\theta, m)$ と物理的背景である宇宙論パラメータ、大規模構造、銀河形成、銀河の光度進化等を結びつける関係は、明るい等級での観測量や、シミュレーション結果、単純化したモデルを通してのみ理解されてきた。そこでここでは、観測で得られた $w(\theta, m)$ を再現するモデルの構築という立場から、 $w(\theta, z)$ と dN/dz を見直し、その物理的関係を明確にすることを目標とする。